

活用実践事例

授業の概要					
学校名	小学校				
授業日時	2014年10月30日	学年	6	教科	国語
単元名	海のいのち				
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 表現の細部に着目し、人物の心情を読み取ることができる。 ・ 理由や根拠を明らかにしながら、自分の考えを書いたり話したりすることができる。 ・ 立松和平の他の作品を読み、命や人の生き方、考え方について自分の考えを深めることができる。 				
単元の流れ	<ol style="list-style-type: none"> ① 作者がどのような人物なのかを知る。 ② 「海のいのち」を通読し、各段落の内容について一文を書く。 ③ 9つの観点の中から選んでひとり学びをし、場面の展開を理解し、学習の見通しを持つ。 ④ ひとり学びをもとに、話し合い学習課題を持つ。 ⑤ 第一場面（設定）を読み、父の海への考えを読み取る。 ⑥ ほかの作品の並行読書始める。 ⑦ 第二・三・四場面（展開）を読み、与吉いさの海への考え、太一が与吉いさの死に直面した時の心情、母の制止を聞かずに父の海へ潜った太一の気持ちを読み取る。 ⑧ 第五場面（山場）を読み、瀬の主と出会ったときの太一の心情を読み取る。 ⑨ 第六場面（結末）を読み、村一番の漁師であり続けた太一の生き方について読み取る。 ⑩ ほかの作品を読み、「海のいのち」と比較して考えをまとめ、プレゼンテーション資料を作成する。（本時） ⑪ プレゼンテーション資料を発表し、意見や感想を交流する。 				
本時の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作者の作品から読み取ったことや、作品を通して命や人の生き方、考え方について自分が感じたことを表現する。 				
本時の授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 一斉学習 <input type="checkbox"/> 少人数学習 <input type="checkbox"/> 習熟度別学習 <input checked="" type="checkbox"/> グループ学習 <input type="checkbox"/> 個別学習				

活用実践事例

ICT活用場面	
授業場所	普通教室
ICT機器活用場面	<input type="checkbox"/> 導入 <input checked="" type="checkbox"/> 展開 <input checked="" type="checkbox"/> まとめ <input type="checkbox"/> その他
	その他
活用者	<input checked="" type="checkbox"/> 指導者 <input checked="" type="checkbox"/> 学習者 <input type="checkbox"/> ICT支援員 <input type="checkbox"/> 授業づくり指導員
活用機器	<input checked="" type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> 学習者用タブレット <input checked="" type="checkbox"/> 指導者用タブレット <input type="checkbox"/> 実物投影機 <input type="checkbox"/> その他
	その他
活用コンテンツ	<input checked="" type="checkbox"/> デジタル教科書 <input checked="" type="checkbox"/> SKYMENU <input type="checkbox"/> Schoology <input checked="" type="checkbox"/> その他
	その他
タブレット活用形態	<input type="checkbox"/> 一人一台 <input checked="" type="checkbox"/> 学習班に一台
活用の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーション資料をKeynoteで作成することで、物語の内容を可視化し、相手にわかりやすく伝えることができる。 ・各グループで作成したプレゼンテーション資料を電子黒板に投影して意見を交流することで、それぞれの作品について考えたことを共有することができる。

活用実践事例

授業の展開		
学習の流れ	ICT活用場面	ポイント
<p>学習課題をつかむ。</p> <p>前時に引き続き、プレゼンテーション資料を作成することを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心人物の変容 ・メッセージを強く意識させる叙述 ・『海のいのち』との比較 ・立松和平が作品を通して伝えたかったこと <p>各グループごとに相手に伝わるようにするためにプレゼンテーション資料を工夫することを話し合う。</p> <p>プレゼンテーション資料を作成する。</p> <p>各グループが作成したプレゼンテーション資料を見て意見を交流し合う。</p>		<p>前時までに作成したプレゼンテーション資料を提示することで、活動の目的を確認する。</p> <p>Keynoteを活用して作成することで、プレゼンテーションの編集が簡単にできる。また、様々な方法を短時間で試すことができ、より伝わりやすくするための工夫がしやすい。</p> <p>プレゼンテーション資料に内容や考えを表現することで、視覚的に内容をとらえることができ、読み取りが苦手な子どもにもわかりやすく伝えることができる。</p> <p>各グループで作成したプレゼンテーション資料を電子黒板に投影して意見を交流することで、それぞれの作品について考えたことを共有することができる。</p>